



Adolescent and young adult 世代の肝細胞癌における臨床病理学的特徴と予後に関する研究

2000年1月1日～2029年12月31日までに肝細胞癌に対して日本医科大学付属病院消化器外科にて肝切除を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「Adolescent and young adult 世代の肝細胞癌における臨床病理学的特徴と予後に関する研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は2000年1月1日より2029年12月31日までに日本医科大学付属病院消化器外科にて肝細胞癌に対して肝切除治療を受けられた方を対象としております。15歳から39歳までの患者さんをAYA世代と定義し、40歳以上の方との違いを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：Adolescent and young adult 世代の肝細胞癌における臨床病理学的特徴と予後に関する研究

研究期間：研究実施許可日～2030年12月31日

調査対象期間：2000年1月1日～2029年12月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 消化器外科 大学院教授 吉田寛

(2) 研究の意義、目的について

肝細胞癌は予後不良な悪性腫瘍で50-70歳代に発症する頻度の高い病気です。しかし、近年15歳から39歳までのいわゆるAdolescent and young adult (AYA) 世代の罹患も増加しております。AYA世代の肝細胞癌の特徴や予後などは不明な点が多いとされております。本研究はAYA世代と非AYA世代の肝細胞癌の様々な特徴や長期予後を明らかにすることを目的といたします。これによりAYA世代の肝細胞癌の治療方針や経過観察の方法などが改善される可能性があります。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2000年1月1日～2029年12月31日までに日本医科大学付属病院消化器外科にて肝細胞癌に対して肝切除を受けられた15から39歳の患者さんの血液検査所見や病理所見を調査し40歳以上の肝細胞癌肝切除の方と血液検査の結果や病理結果を比較します。また、予後調査を行い、AYA世代と非AYA世代の予後を比較検討します。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：手術時に切除した肝臓組織、等

情報：年齢、性別、血液検査から判明する肝機能、腫瘍マーカー、切除標本から判明する病理結果、等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 消化器外科 病院講師 上田純志

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24212

メールアドレス：junji0821@nms.ac.jp